

満足度調査（2018年度） 分析結果

学習支援センター

2019年3月14日

本資料は、2019年1月11日から2月4日にかけて、教務委員会と学習支援センターが実施した「後期学修時間および満足度調査」に関して、満足度に関する部分の回答内容を分析したものである。この調査は、学修支援と学生支援に対する満足度について全学の状況を把握し、今後の改善に繋げることを目的として実施した。同様の目的で実施した調査には、2016年度「学生生活満足度調査」（全学部・全学年対象、無記名・抽出調査）と、2017年度の「新入生調査」（全学部1年生対象、悉皆調査）がある。今回はこれら二つの調査の項目を学修支援と学生支援の観点で整理し、全学部・全学年向けに実施した。

調査は、本学が学生に提供している Web サービスを用いる方法で行った。実施に際しては、これまでと同様、教務委員の方々を中心にそれぞれの学部の取りまとめを行っていただいた。

回答状況を表 1 に示す。4 学部のすべての学年から回答が得られた。全在籍者数に対する回答率は、27.6%と低い結果となった。上記の「新入生調査」では、対象は1年生のみであったが、今回と同じ方法で64.8%の回答率であった。今後は、教職員に調査の目的をさらに周知する等、回答率の向上・確保を徹底したい。なお、薬学部5年生は、学外で実習を行っている時期のため回答率は少ない。

表 1 回答状況（学部・学年別）

	総合経営学部	社会学部	ソフトウェア 情報学部	薬学部	学年計
1年生	83名	51名	36名	22名	192名
2年生	23名	8名	27名	5名	63名
3年生	12名	7名	9名	11名	39名
4年生	13名	1名	15名	1名	30名
5年生				2名	2名
6年生				1名	1名
学部計	131名	67名	87名	42名	327名

調査項目をこの資料の最後に添付する。本調査では、学修支援に関して授業の難易度や支援の必要性を、学生支援に関して健康面・経済面等の支援の必要性を尋ねた。また、それぞれについて質問の後に満足度と判断理由を回答してもらった。さらに、今後の改善に向けた意見・アイデアを募っている。

以降、それぞれの質問に対して、前期調査との比較も含めた分析結果をまとめる。なお、Q1とQ2は、学修時間に関する項目であり、これらの分析は別の資料にまとめている。

Q3～Q5. 「学修支援」の必要性と評価

Q3では、学修支援に関する状況把握と支援の必要性を、四つの質問（Q3-1～Q3-4）で尋ねている。回答は、「そう思う」から「そう思わない」までの4段階と「分からない」の中から選択させた。図1～4の配色は、次のようにしている。

回答内容

■ : 「そう思う」、 ■ : 「どちらかといえば、そう思う」、 ■ : 「あまりそう思わない」、
 ■ : 「そう思わない」、 ■ : 「分からない」、 ■ : 未回答

平均的な授業の難易度についての回答分布は、図1のようになった。全学平均では、「そう思う」が15.90%、「どちらかといえば、そう思う」が33.64%で、合わせてほぼ半数となった。学部別では、薬学部で割合が高めで、ソフトウェア情報学部が低めとなった。学年別（5年生と6年生は回答が少ないため含めない）では、「そう思う」の割合は1年生で20.31%、2年生以降は11.11%、10.26%、6.67%と下がっている。また、「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計は、2年生が33.3%と低い以外はおおよそ50%となっている。

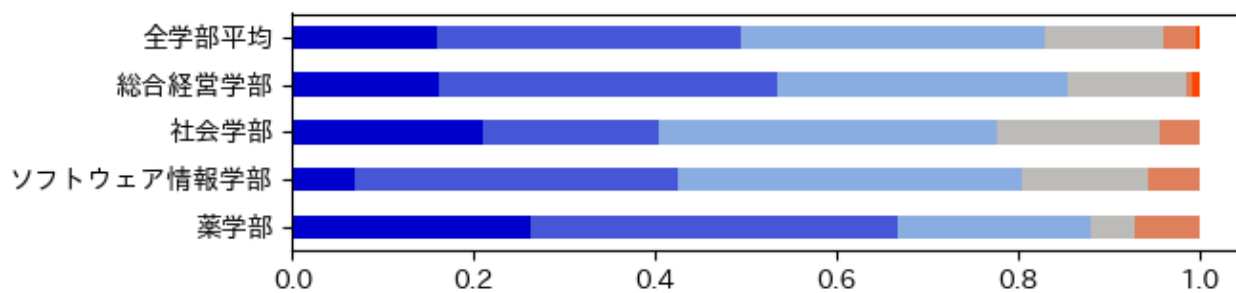


図1 「Q3-1. 授業の難易度は、全科目を平均するとかなり難しいと思っていますか」の回答分布

また、普段の授業で難しさを感じることもあるかを問うたところ、回答分布は図2のようになった。質問内容が近い結果はQ3-1と同様であったが、総合経営学部で前問よりも率が下がり、薬学部では逆に「そう思う」が全体の1/3となった。

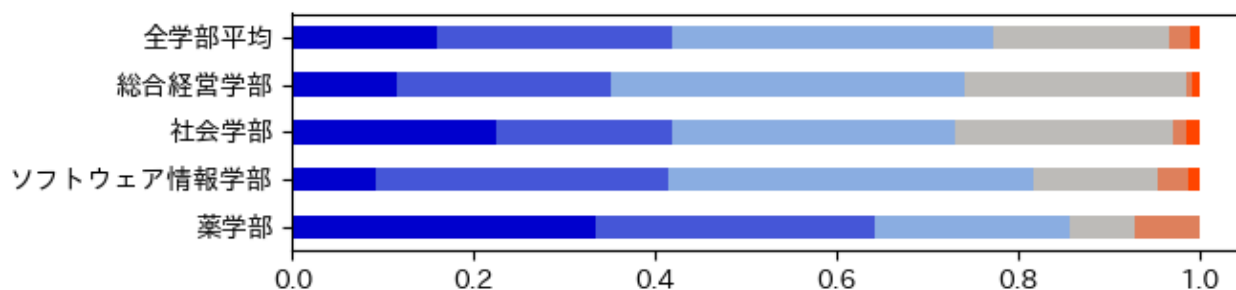


図2 「Q3-2. 難しく理解できない、または授業のペースに追い付けないと感じることはありますか」の回答分布

学修に対する支援を必要と思うかどうか尋ねたところ、結果は図3のようになった。全体的には Q3-1 や Q3-2 の回答と同様だが、「そう思う」と回答した割合が薬学部では 35.71%と高く、ソフトウェア情報学部でも 14.94%とこれまでの回答よりも増えている。学年別では「そう思う」の割合は1～3年生まででおおよそ2割、4年生では1割であった。

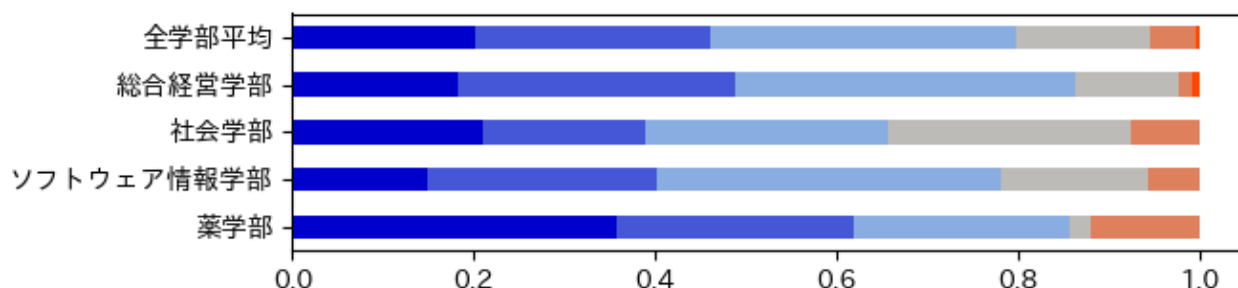


図3 「Q3-3. 学修に関して支援が必要だと思っていますか」の回答分布

支援を必要としている学生が、実際に本学で提供している学習相談窓口やオフィスアワーなどの利用を考えるか確認した結果は、図4のようになった。薬学部の「どちらかといえば、そう思う」の割合が少なくなった以外は、回答の分布はほぼ Q3-3 と同じとなり、必要な場合は状況では学生が教職員への相談を検討している様子が見られる。

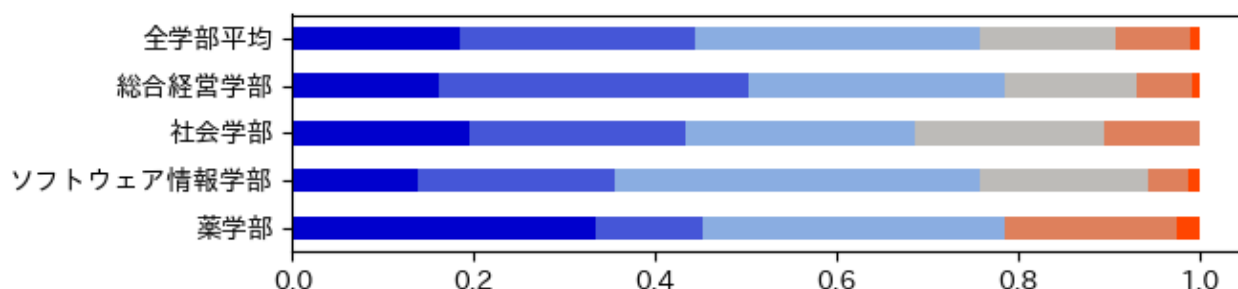


図4 「Q3-4. 学習相談窓口やオフィスアワーなどを利用したいと考えることはありますか」の回答分布

Q3を踏まえ、Q4では学修支援に対する満足度を尋ねた(図5)。この質問では、「満足」から「不満」までの4段階と「分からない」の中から回答を選択させた。図5の配色は、次のようにしている。

回答内容



回答分布を見ると、全学的には「満足」が 13.46%と低いが、「どちらかといえば、満足」を合わせると 58.72%となった。残りの回答では「分からない」が 17.74%と多めで、「不満 (4.28%)」と「どちらかといえば、不満 (18.96%)」の合計は 23.24%であった。学部別では、総合経営学部が高く、薬学部が低い傾向が見られた。学年別では、1年生の満足度が高い。

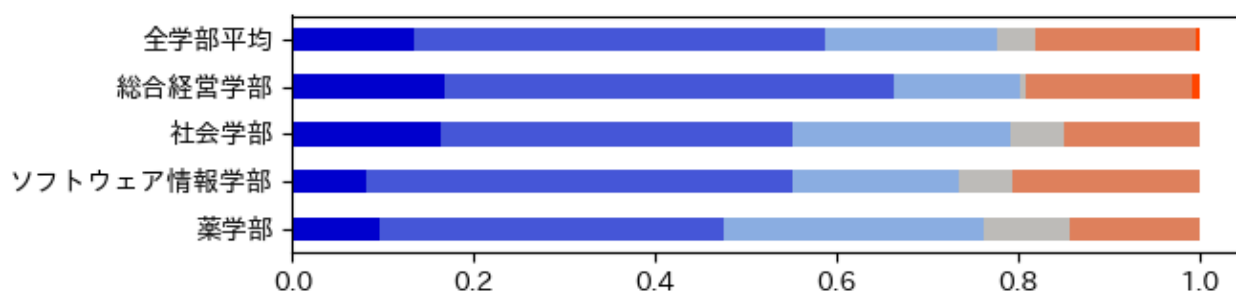


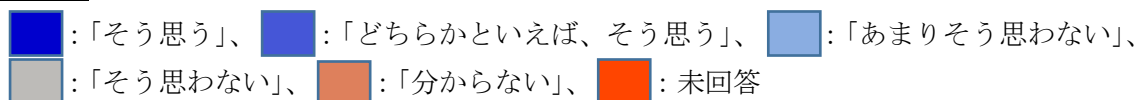
図5 「Q4. 学修支援や学修環境についての満足度を、選択肢から選んでください」の回答分布

Q5では、Q4の回答理由を自由記述形式で尋ねた。全体の記入率は51.68%と、およそ半数の学生が回答した。「満足」の理由としては、授業時の教員の工夫、困った際の支援等、「どちらかといえば、満足」では、この二点と合わせて学修環境の充実等があげられている。一方、「不満」の理由は、授業時に他の学生がうるさく集中できないこと、学修環境の不備等、「どちらかといえば、不満」まで含めると、これらの他に学びたい内容と提供されている科目のミスマッチ等があげられた。

Q6～Q8. 「学生支援」の必要性と評価

Q6では、学生支援に関する状況把握と支援の必要性を、五つの質問(Q6-1～Q6-5)で尋ねている。回答は、Q3と同じく、「そう思う」から「そう思わない」までの4段階と「分からない」の中から選択させた。図6～10の配色は、次のようにしている。

回答内容



初めに、心身の健康維持に対する支援の必要性を尋ねた(図6)。学部ごとに多少の揺れはあるものの、全体では「そう思う」が18.65%、「どちらかといえば、そう思う」が20.80%と、合わせて4割程が必要性和思っていることが分かった。

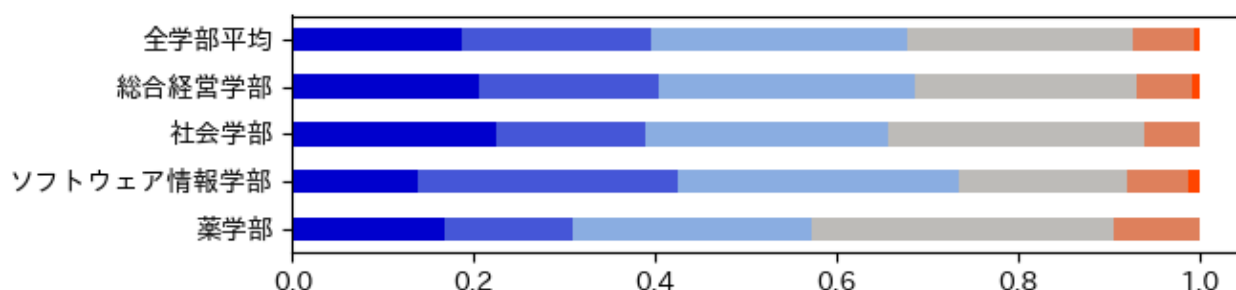


図6 「Q6-1. 心身に関する健康維持について、支援が必要だと思っていますか」の回答分布

学費や生活費等の経済面での支援に対しては、図 7 の回答分布となった。前問と異なり、社会学部で多少割合が低いものの、全体では「そう思う」が 45.26%、「どちらかといえば、そう思う」が 29.36%と、支援の必要性が高い。

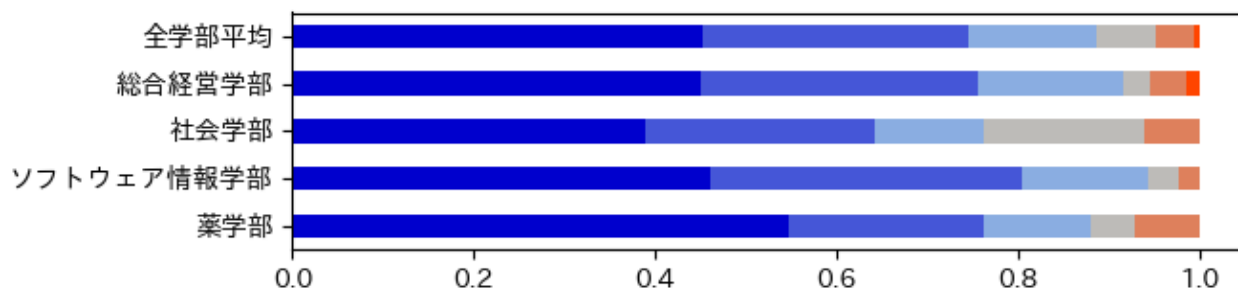


図 7 「Q6-2. 経済面（学費、生活費など）について、支援が必要だと思っていますか」の回答分布

本学は、とくに総合経営学部や社会学部で部活動に取り組んでいる学生が多いが、こうした正課外の活動に関しては、図 8 のようにこれら 2 学部で支援が必要と感じている学生が多い。また、薬学部では正課外活動に取り組む学生が少ないためか、「分からない」の割合が高い。

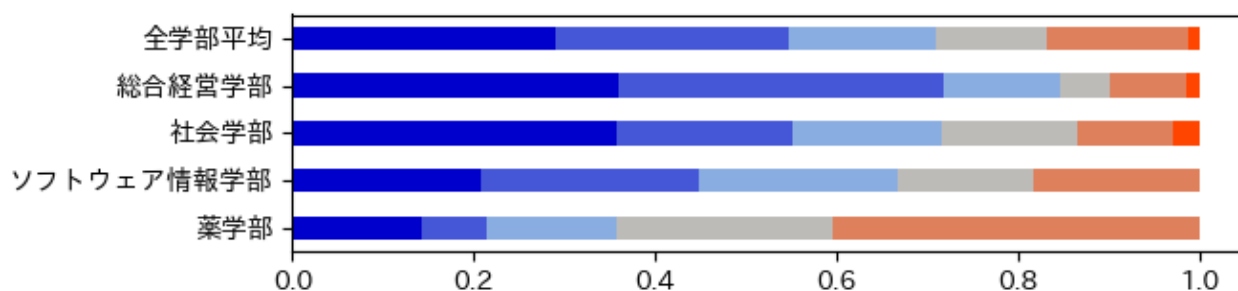


図 8 「Q6-3. 部・サークル活動などの正課外活動について、支援が必要だと思っていますか」の回答分布

他の学生や教職員との人間関係についての支援に対しては、図 9 の回答分布となった。総合経営学部が他学部より支援を必要とする割合が高い。全体では、4 割程度が必要性を感じている。

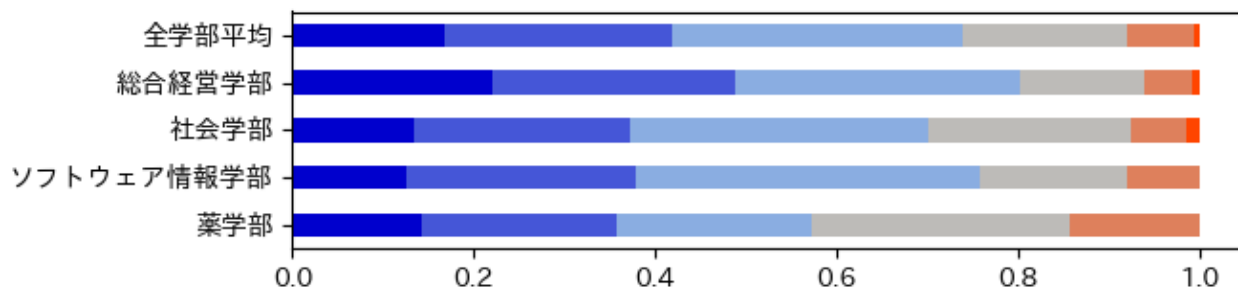


図 9 「Q6-4. 他の学生や教職員との人間関係について、支援が必要だと思っていますか」の回答分布

Q6-1～Q6-4 までは対象別に支援の必要性を尋ねたが、Q6-5 では支援を必要とする学生が、本学が提供している保健室、カウンセリング制度、及び相談窓口の利用を考えたどうかを確認した。図 10 に見られるように、これらの制度の利用を検討する割合は低めであった。Q3-4 の学修支援と異なり、学生支援に関しては家族や友人に相談したり、学外のサービスを利用する等を選ぶ学生が居る様子がうかがえる。

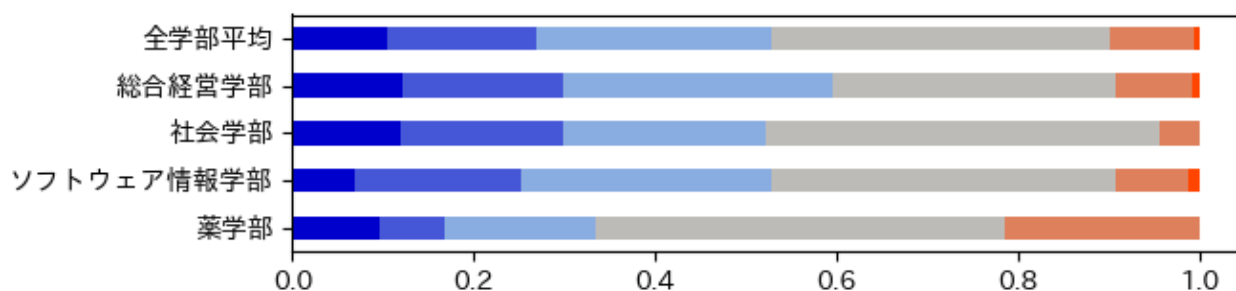


図 10 「Q6-5. 保健室やカウンセリング制度、および相談窓口などを利用したいと考えることはありますか」の回答分布

Q6 を踏まえ、Q7 では学生支援全体に対する満足度を尋ねた (図 11)。この質問では、「満足」から「不満」までの 4 段階と「分からない」の中から回答を選択させた。図 11 の配色は、図 5 と同じく、次のようにしている。

回答内容



全体では、「満足」が 14.37%、「どちらかといえば、満足」が 48.32%であった。一方、「分からない」が 25.69%と Q4 よりも多い。総合経営学部と薬学部では、「不満」と回答した学生は居なかった。

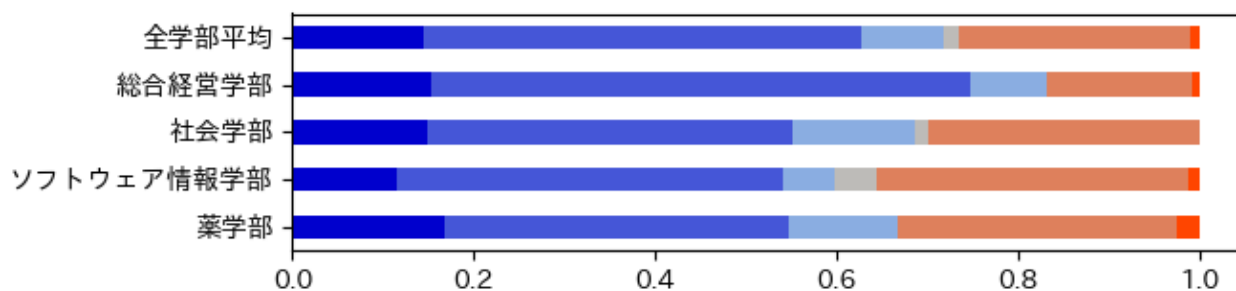


図 11 「Q7. 学生支援についての全体的な満足度を、選択肢から選んでください」の回答分布

Q8 では、Q7 の回答理由を自由記述形式で尋ねた。全体の記入率は 29.36%であった。「満足」と「どちらかといえば、満足」に共通する理由として、奨学金制度や教職員の対応の良さ等が多くあげられている。一方、「不満」や「どちらかといえば、不満」の理由は、学費や事務局の対応等があげられた。

Q9. 支援体制や学修環境をより良くするための意見やアイデアを自由に書いてください

この設問は、これまでの学修時間・学修行動調査で常に最後に尋ねてきたものである。ただし、「支援体制」は今回の調査で付け加えている。今回は 82 件 (25.08%) の回答が寄せられた。以下に分類とそれぞれの主な内容をまとめる。

- 授業の方法
 - 授業時の私語対応、授業方法の工夫
- 学生支援
 - 掲示方法等の工夫、就職活動の支援強化、特待制度、食堂
- 施設・設備
 - 授業外学修を行う環境、ネットワーク環境、冷暖房の環境、学内の清掃、全体的な施設・設備の改善
- その他
 - 学生の意見を集約する仕組みの運用、教職員と触れ合う機会の設置、正課外活動との両立支援

これらの内容は、前回までの学修時間・学修行動調査と同様のものも多い。

この設問 (Q9) の回答と、学修支援に関する満足度の回答理由 (Q5)、学生支援に関する満足度の回答理由 (Q8) は、それぞれ個人が特定されないようにした上で、内容を整理して教職員間で共有している。

2018 年度 「後期学修時間および満足度調査」(満足度の部分)

Q 3. 「学修支援」の状況把握と必要性

Q 3-1. 授業の難易度は、全科目を平均するとかなり難しいと思っ
ていますか

Q 3-2. 難しく理解できない、または授業のペースに追いつけ
ないと感じることはありますか

Q 3-3. 学修に関して支援が必要だと思っ
ていますか

Q 3-4. 学習相談窓口やオフィスアワーなどを利用したいと考
えることはありますか

【選択肢】: そう思う、どちらかといえばそう思う、あまり
そう思わない、
そう思わない、分からない

Q 4. 学修支援や学修環境についての満足度を、選択肢から選
んでください。

【選択肢】: 満足、どちらかといえば満足、どちらかとい
えば不満、不満、分からない

Q 5. Q 4 の回答理由として、個人的にもっとも影響が大
きいことは何か、自由に書いてください

Q 6. 「学生生活に関する支援」の状況把握と必要性

Q 6-1. 心身に関する健康維持について、支援が必要だと思
っていますか

Q 6-2. 経済面(学費、生活費など)について、支援が必要
だと思っ
ていますか

Q 6-3. 部・サークル活動などの正課外活動について、支
援が必要だと思っ
ていますか

Q 6-4. 他の学生や教職員との人間関係について、支援
が必要だと思っ
ていますか

Q 6-5. 保健室やカウンセリング制度、および相談窓
口などを利用したいと考
えることはあり
ます
か

【選択肢】: そう思う、どちらかといえばそう思う、あ
まりそう思
わない、
そう思
わない、
分
か
ら
な
い

Q 7. 学生支援についての全体的な満足度を、選択肢から選
んでください。

【選択肢】: 満足、どちらかといえば満足、どちらかとい
えば不満、不満、分からない

Q 8. Q 7 の回答理由として、個人的にもっとも影響が大
きいことは何か、自由に書いてください

Q 9. 支援体制や学修環境をより良くするための意見やアイ
デアを自由に書いてください